

第4学年 算数科学習指導案 単元名「小数」全13時間

【単元目標】
 A(4)(1/1000の位までの)小数が整数と同じ仕組みで表されていること
 の理解を深め、加法及び減法の計算の仕方を考え、筆算で計算できるようにす

【単元がつながる内容】
 4年 小数と整数のかけ算
 ・わり算
 5年 整数と小数

【単元後の児童の意識】
 10集まると位が1つ上がることや同
 じ位どうしたしたりひいたりするこ
 が整数のときと同じだった。かけ算や
 わり算も整数のようにできるのかな。

⑬まとめの練習【活用する】
 基本的な学習内容を理解して
 いるか確認し、それに習熟す
 る。

小数のしくみを活用する授業

⑨小数のたし算【活かす】<本時>
 小数の加法の仕方を考える活動を通
 して、加法の計算原理や筆算の仕方を
 理解し、計算することができる。

【思】
 小数のたし算も(整数と同じよう

⑩小数のたし算2【活かす】
 小数点以下の桁数が異なる加法や答えの末
 尾が0になるの加法の仕方を考える活動を通
 して、筆算の仕方を理解し、計算することが
 できる。【知】

やっぱり、たし算は同じ位どうし計算する
 ことが大切。答えの終わりの0を消し忘れな

⑪小数のひき算【活かす】
 小数の減法の仕方を考える活動を通
 して、減法の計算原理や筆算の仕方を
 理解し、計算することができる。

【知】
 小数のひき算もたし算と同じよう

⑫小数のひき算2【活かす】
 小数点以下の桁数が異なる減法の仕方を考
 える活動を通して、筆算の仕方を理解し、計
 算することができる。【知・主】

小数のひき算で、私が気を付けることは、
 筆算でひけないときに、ひくの数そのまま
 答えに書かないことです。

【単元に関わる既習内容】
 3年 小数
 ・小数の意味と表し方、読み方
 ・用語と意味
 ・小数の仕組み、順序、系列、相対
 的な大きさ、大小比較
 ・小数第一位までの小数の加法、
 減法

【児童の実態】(準備テストより)
 ○1.6+2.5のような1/10の位ま
 でのたし算は、全員が正しく
 できる。
 ●1.3は0.1のいくつ分かが正し
 く理解できていない児童が
 23%いる。
 ●51.3の1/10の位の数字が正し
 く答えられない児童が68%い
 る。

⑧数の見方【活かす】
 4人の見方を考える活動を通
 して、1つの数を多面的にみて
 表すことができる。【思】

これまで学習した内容を活用
 すると、1つの小数でもいろい
 ろな見方ができるのだな。

⑦小数の10倍、1/10【活かす】
 小数を10倍、100倍、1/10、1/100
 にした数について考える活動を通し
 て、位の変わり方を理解する。

【知】
 小数も整数と同じように、10倍、
 100倍すると位が1つ、2つ上が
 り、1/10、1/100にすると位が1つ2

小数のしくみについて考える授業

⑥小数の大きさ比べ【考える】
 2人の考えを説明する活動を通し
 て、小数と小数、小数と整数の大小
 比較のしかたを理解する。【思】

小数も整数と同じように、位をそ
 えて大きい位から比べたり、数直線
 に表したりすると、大小比較ができ

⑤0.01のいくつ分【考える】
 小数を0.01のいくつ分で表す
 方法を考える活動を通して、小
 数を数の構成をもとに、0.01を
 単位として相対的にみて表すこ
 とができる。【思】

0.01のいくつ分かは、数直線
 や位取り表を使ったり、位ごと
 に分けて考えたりすれば分か

① 小数の表し方(かさ)【知る】
 かさに関するはしたの表し方
 について考える活動を通して、
 1/100の位までの小数の表し方
 や読み方を理解する。【知・
 思】

0.1Lより小さいかさは、0.1ご
 との目もりをさらに10等分し
 て、0.01Lのいくつ分で表せば

1/1000の位までの小数を知る授業

②小数の表し方(長さ)【知る】
 0.1mより短い長さの表し方を
 考える活動を通して、1/100の位
 までの小数を用いて、mの単位で
 長さを表すことができる。【知】

長さもかさと同じように、0.1
 mの1/10の単位0.01mを使えば
 表すことができる。

③小数の表し方(km)【知る】
 0.01kmより短い長さの表し方を考
 える活動を通して、0.01より小さい
 数はさらに10等分して、0.001を使
 って表せばよいことを理解する。

【知】
 0.01より小さい数は、0.01をさ
 らに10等分した0.001を使って表

④小数と整数のしくみ【知る】
 小数と整数の関係を調べる活動
 を通して、小数も十進位取り記数
 法に基づいていることを理解し、
 各位の名称を知る。【知】

小数も整数と同じように、それ
 ぞれの位の数がいくつあるかで数
 を表し、10集まると位が1つ上が

◆本時のねらい

小数の加法の仕方を考える活動を通して、加法の計算原理や筆算の仕方を理解し、計算することができる。

◆本時の展開(9/13)

○研究にかかわって ◇指導の工夫

	学習活動と児童の姿	指導上の留意点
つかむ	<p>1 問題(1) 水が1.23L入っているバケツと4.75L入っているバケツがあります。1つの水槽に入れると何Lになりますか。 ・わかっていること ・求めること ・式 ・わけ ・前時までの学習との違い ・和の見積もり</p> <p>2 課題づくり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>小数のたし算のしかたを考えよう。</p> </div>	<p>◇前時の数の見方を2分前学習で復習する。 ◇和を見積もることで、計算ミスに気付けるようにする。</p>
考える	<p>3 個人追究</p> <p>4 全体交流 ・3つの考え方(ゆい・つばさ・筆算)を板書に位置づける。 (1)ゆい…『0.01のいくつ分』 1.23は0.01が123個 4.75は0.01が475個だから、合わせて0.01が598個で5.98 (2)つばさ…『位ごと』 1.23は1と0.2と0.03 4.75は4と0.7と0.05だから、合わせて5と0.9と0.08で5.98 (3)筆算</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>小数のたし算は、0.01のいくつ分と考えてたしたり、位ごとにたしたりするとよいことをおさえる。</p> </div> <p>① 2つの方法が、筆算でもあてはまるかを考えよう。(筆算につながっているところを見つけよう。)</p>	<p>◇書き出せない児童のために、ヒントカードを用意する。それでも困った児童は、T2のところに集まる。 ◇T1は机列表に考え方を記録し、全体交流で意図的指名ができるようにする。 ◇いきなり筆算で考えることも認め、どのように考えているかを考える。 ○ゆい・つばさの考え方が子どもたちから出てこなかった場合は、教師が示す。 ○3~4人グループで1台タブレットを用意し、黒板をカメラで撮影する。板書を手掛かりとして、考え方を筆算につなぐ。</p>
深める	<p>5 グループ交流 ・答えは5.98で同じになる。見積もりとも近い数だ。 ・『0.01のいくつ分』と見て計算している。 ・『同じ位ごと』にたしている。□(1や0.1や0.01)のいくつ分と考えている。</p> <p>6 視点をふまえて、筆算を全員で確認する。 ①位をそろえて書く。②整数と同じように計算する。 ③上にそろえて、和の小数点をうつ。</p> <p>7 問題(2)1.362+5.427を筆算で計算し、ゆいやつばさの方法で説明しよう。 ・ゆい…0.001のいくつ分 ・つばさ…1/1000の位は0.001の個数 ・筆算の仕方を確認する。</p>	<p>【視点】 答え(青) ゆい『0.01のいくつ分』(黄) つばさ『位ごと』(赤) ○筆算は、ゆいやつばさの考え方を取り入れていることを確認する。 ○問題(2)で1/1000の位の小数まで数を広げ、0.001のいくつ分かを考えれば、同じように位をそろえて計算できることを確かめる。</p>
まとめる	<p>8 まとめ 小数のたし算で大切なことをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>小数のたし算は、位をそろえて計算することが大切である。</p> </div> <p>9 練習 P.174 鉛筆問題1 ①③⑥</p>	<p>評価規準【知識】$\frac{1}{1000}$の位までの小数の加法の計算の仕方や筆算の仕方を理解し、計算できる。</p> <p>☆ 人の意見を否定せず、最後まで聞いて理解しようと努める。(行動力)</p>

